

誠・力・光

令和2年10月19日
練馬区立北町中学校
学校だより 6号

生徒の力で新しい北町中づくりを

校長 中嶋 雅彦

10月16日に、通知表が生徒に渡されました。今年度は、3年生は、1学期末に5教科の評定を渡しました。全校生徒に、9月末日までのすべての評価、評定や所見などを渡すのは、最初となります。教師は、生徒の評価をつけると同時に、自らの指導法や授業内容について改善を図る機会としています。今までの授業で生徒がどれだけの学力を身に付けたかを検証することにより、さらに授業改善をし、生徒が身に付けなければならない生きる力を育成する必要があります。また、生徒は、通知表に記されている数字だけにとらわれるのではなく、授業内の活動や家庭学習を含め改善すべき点を見つけなければいけません。なぜこの教科は4なのかという数字だけにとらわれずに、同じ4という数字であっても人それぞれ意味合いが違います。その中に隠れている自らの能力の伸ばし方を見つけ、これからの学校生活での変化が必要となります。生徒と教師が今回の通知表を機にこれからの授業が分かりや学校で生活するすくすべての者が輝く時間になることを期待しています。

さて、19日には、後期生徒会本部役員・専門委員の認証式が行われました。いよいよ、3年生から1, 2年生に生徒会のバトンが渡されます。これからも北町中学校の良き伝統である「自ら考え作り上げていく生徒会」であって欲しいと思います。集団でまとまり発表する活動が制限される中ですが、ICT機器を活用することや各学年に分散し実施することにより、それを表現する場を作り子どもたちの自主性を伸ばしていこうと考えています。3年生は、それぞれの進路について取り組む時期となりますが、まだまだ1, 2年生のお手本となり、後輩の見本を示していかなければなりません。1学期は、生徒の挨拶の声が聞こえなくなってきた。などの不安もありました。体育館での全校朝礼は、会議室から各教室への画像配信となり、子どもたちの大きな挨拶の声は直接聞けません。私も不安があり、今までの挨拶がこれからもつながるように呼び掛けたこともあります。生活指導主任の津田教諭から生徒への話もあり、最近では校舎内に大きな挨拶の声が戻ってきたように感じられます。生徒会長は3年1組の大橋夏月さんから2年1組の村上統美さんへと変わっていくこの時こそ、よりよい北町中づくりを生徒とともに実現していく機会としていこうと考えています。

また、この日は、青少年育成第八地区委員会より北町中の生徒に北中連阿波踊りが使用する「まとい」が寄贈されました。毎年7月下旬の土曜日に行われる北町商店街での阿波踊りに参加するときに使うものです。今までのものは少し重かったようですが、この度新しく重量も軽くなっているそうです。地域からのこのような北町中学校への気持ちを大切に、これからも、保護者、地域の皆様の協力を得て、学校教育を活性化していきたいと考えています。ご協力のほどよろしく願いいたします。

セーフティ教室 ～SNSの使い方・危険ドラッグについて～

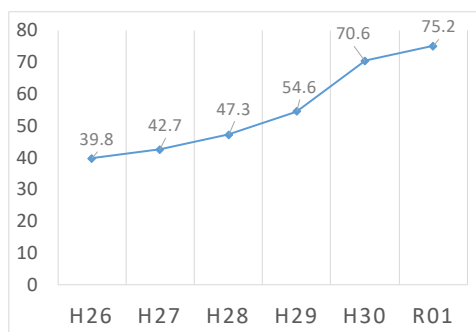
生活指導主任 津田 忠輝

10月10日（土）に「セーフティ教室」を実施しました。本来であれば、光が丘警察生活安全課少年係の方をお呼びして実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防対策として、資料提供していただき、代わりに生活指導主任が講演を行いました。全学年を体育館に集めることができないため、各教室でZoomを活用して実施しました。「スマートフォン・SNSの危険性、危険ドラッグに対する正しい理解」という内容で、日頃から意識しなければいけないことを示しました。

中学生のスマホ所有率が70%を超えている昨今において「スマホとどう向き合っていて生活していくのか」が大切になります。スマホ依存は誰にでもなる可能性はあり、「SNS依存タイプ」「ゲーム依存タイプ」「動画依存タイプ」の3つのタイプに分けられています。自分が「どの程度の時間」、「何に」使用しているのか意識をしながら使うことが、依存に陥らないために必要なことです。また、最近では様々なSNS（ソーシャルネットワークサービス）があり、動画や画像を誰でも簡単に配信することができます。また、顔や本名も知らない人と簡単に知り合うこともできてしまいます。それぞれのツールに潜む危険性をしっかりと理解し、自分の身を守るためにも「フィルタリングサービス」を各家庭には設定していただきたいと思います。

昨年の若者の意識調査において、32.6%が大麻の危険性は「全くない」と、43.3%が大麻の危険性は「あまりない」と答えました。つまり、7割以上の若者が大麻は危険なものではないと誤った認識をもっていることがわかりました。また、大麻の少年検挙数はここ5年で2倍になっており、誤った認識からの使用者が増えていることが明白です。最近では、「脱法ドラッグ」と呼ばれ、違法ではないような認識をもってしまうような薬物もありますが、すべて「危険ドラッグ」のくくりになり、違法であるということをしかりと理解しなければいけません。

SNSも薬物も「自分には関係ないことだ」と思うことが一番危険なことです。誰にもSNSやドラッグの危険は近づいてくる可能性はあります。そういった危険な場所に近づかない、興味をもたないことはもちろんのこと、甘い誘いに惑わされることなく、強く断る勇気と正しい知識をもたなければいけません。



中学生のスマホ所有率の推移



Zoomを活用し、会議室から配信

お知らせ

今年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため、ご家庭との連絡をとる機会が増えました。そのため、令和3年3月末まで、学校用携帯電話を用意いたしました。下記の電話番号でご家庭との連絡が可能ですので、ご承知おきください。

学校携帯番号 080-7543-3845